

令和2年度広陵町地域公共交通活性化協議会事業報告

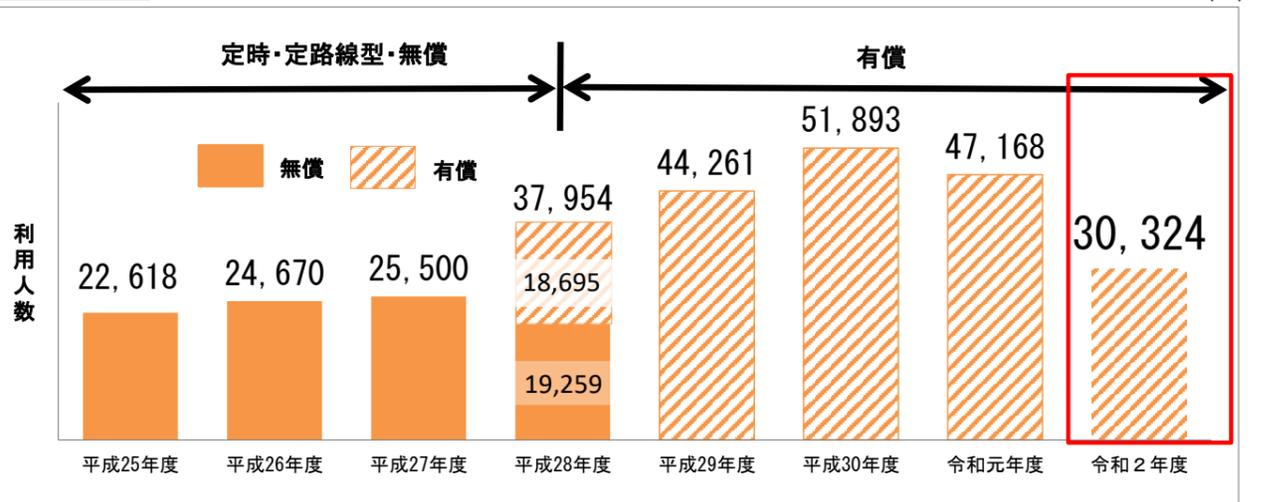
資料2

令和2年度取組事業

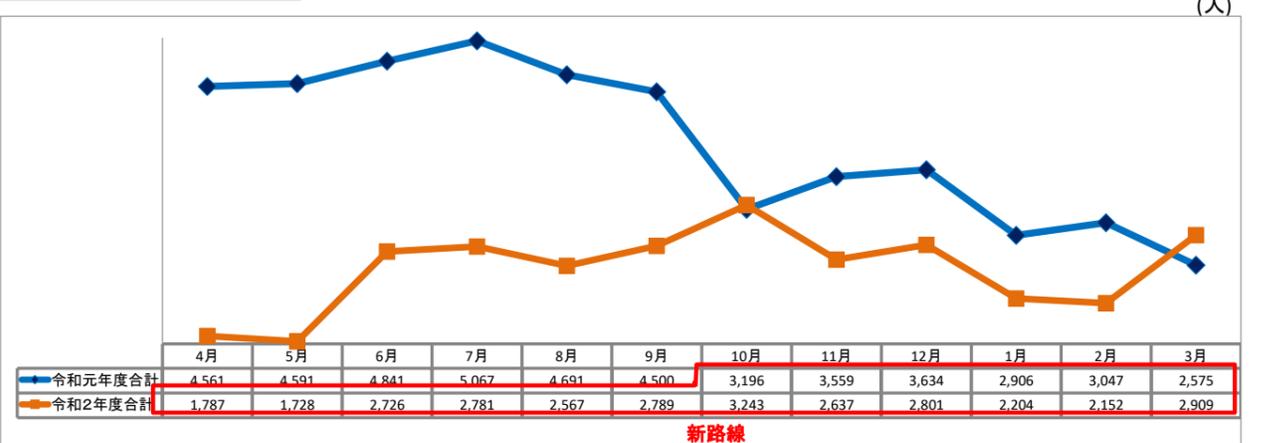
※例年実施している、広陵元気塾との政策間連携、「いのちを守るイベント」での周知活動については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施

①事業の概要	②事業の結果	③事業の今後の改善点
<p>●バスロケーションシステムの導入</p> <p>交通事情により運行状況に影響が出やすいというバスの性質を踏まえ、「奈良バスなびWeb」にてリアルタイムの走行位置や走行中の広陵元気号の行き先、停車停留所の情報、利用バス停への接近情報がスマートフォンやパソコンから確認できる、バスロケーションシステムを導入。</p> <p>高齢者の利用が多いさわやかホールには、大型モニターを設置し、当該施設に接近する元気号の情報を投影している。</p>	<p>令和元年度に各停留所に付記したQRコードを活用し、広陵元気号の接近情報等を確認できるようにした。</p> <p>バスの位置情報が把握できるため、迅速な遅延対応が可能となった。</p> <p>また、広報、ホームページ、Facebook、元気号車内で周知を行った。</p>	<p>「奈良バスなびWeb」にアクセスし、接近情報等を確認できるよう周知しているが、定着を図るため、さらなる周知を行う。</p>
<p>●電子決済サービス（PayPay）の導入</p> <p>利用者の運賃支払いの選択肢を増やし、運行事業者である奈良交通（株）の運賃管理の簡略化を図るため、令和2年10月より、運賃支払いに電子決済サービス「PayPay」を追加。</p>	<p>【PayPayでの支払】</p> <p>22,900円（10月～3月）</p> <p>※運賃収入の1%程度（年間）</p>	<p>引き続き、情報通信端末所有者に向け、SNSでの行政情報発信を強化するとともに、さらなる利用促進や利用満足度の向上を図る。</p>
<p>●抗菌・抗ウイルス施工の実施</p> <p>利用者に安心して乗車いただけるよう、広陵元気号の車内の抗菌・抗ウイルスコーティング施工を行った。</p>	<p>全ての広陵元気号車両において抗菌・抗ウイルス加工を実施。</p> <p>利用者に安心して乗車いただく環境整備を行った。</p>	
<p>●「広陵元気号」標語募集の実施</p> <p>「広陵元気号」が地域の公共交通であることを子どもたちに伝えるとともに、その保護者にも広陵元気号の周知を行った。</p> <p>【実施内容】</p> <p>町内小学校5校在学の児童（6年生 ※広陵北小学校のみ5年生）から、「広陵元気号」の標語を募集</p>	<p>【応募標語数】</p> <p>5校合計：342標語（対象児童の97%が提出）</p> <p>各小学校で最優秀標語1点を選定した。</p> <p>最優秀標語は、バスの乗り方教室参加記念品（ものさし）に印字した。</p>	<p>引き続き、「広陵元気号」が地域の公共交通であることを子どもたちに伝え、認知度向上や利用促進を図っていく。また、標語の提出100%を目指す。</p>
<p>●広陵元気号利用ポイント制度の実施</p> <p>町内の商業施設と連携し、無関心層の取り込みを行った。</p> <p>【実施内容】</p> <p>「広陵元気号」の利用でポイントが貯まり、20ポイントで協賛店舗の指定商品と交換できるカードの配布（平成29年11月から継続中）</p> <p>※令和元年10月から「お買い物ポイントカード」から「広陵元気号ポイントカード」に名称を変更、新たに「コープなんごう」が協賛</p>	<p>【ポイントカード回収枚数】</p> <p>イズミヤ：275枚</p> <p>エコーン・マミ：303枚</p> <p>エバグリーン：141枚</p> <p>コープなんごう：0枚</p> <p>合計：719枚</p>	<p>令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大により人流が制限されたため昨年度に比べ広陵元気号利用が減少したことからポイントカードの回収枚数も減少した。</p> <p>今後もモビリティマネジメントの観点から協賛店舗を増やし、無関心層や既存利用者の更なる利用促進や利用満足度の向上を図る。</p>
<p>●町広報を活用した乗車促進</p> <p>・無料乗車券（2回分、10月末期限）の配布</p> <p>コロナ禍により、「3密」の状況を作り出す公共交通（バス）の利用が全国的に減少している中で、抗菌・抗ウイルス施工のほか、乗務員による座席の除菌・消毒を行っており安心して利用いただける旨を周知するとともに利用促進のため無料乗車券を広報に添付した。</p>	<p>【無料券回収枚数】</p> <p>1,223枚（8月～10月）</p> <p>一定数の利用増加につながった。</p>	<p>引き続き利用者に安心して乗車いただける公共交通を目指す。</p>
<p>●バスの乗り方教室の実施</p> <p>小学6年生を対象に公共交通機関の一つであるバスについての知識を深め、公共交通のあり方を伝える講座を開催し、バスの利用促進を図る。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、上記についてのパンフレットを配付。</p>	<p>例年実施しているバスの基礎知識、乗車方法、交通安全に関する内容のパンフレットを配付した。</p>	<p>小学生に対して、状況に応じた周知・利用促進を実施する。</p>

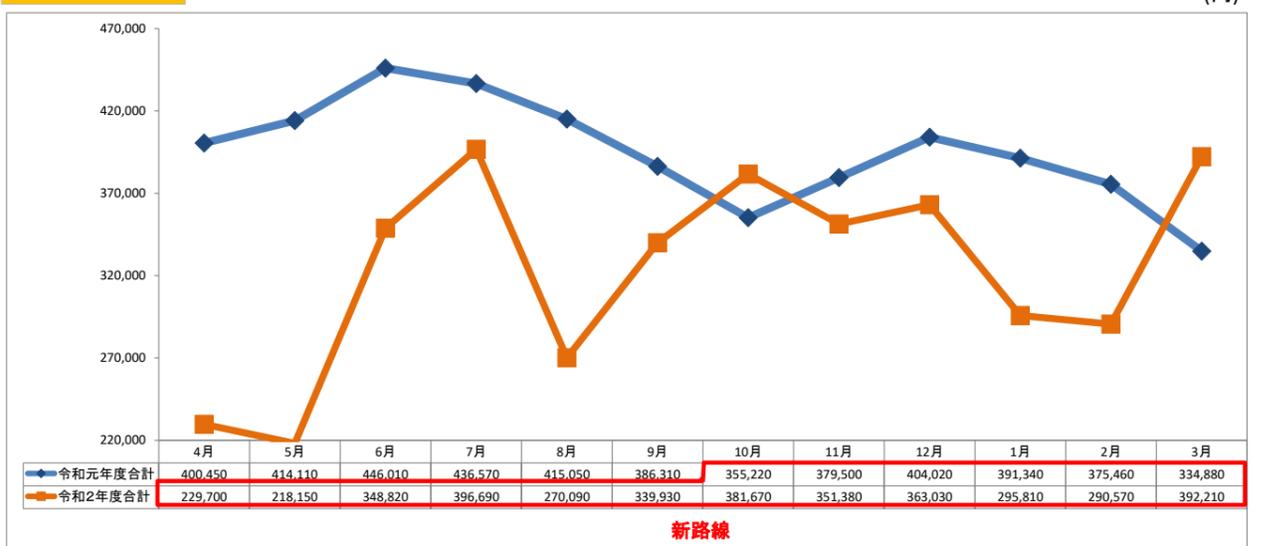
利用者推移



月別利用者数比較表(3路線合)



月別収入比較表



※R2.4.16～R2.5.14 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言 発令